

本市の予防接種行政について

葛山 繁隆 議員

問 定期接種の概要を伺います。

答 定期接種は2つに分類されますが、本人が接種するよう努めなければならない努力義務及び、国と自治体に課される接種勧奨のある「A類疾病」と、努力義務及び接種勧奨を伴わない「B類疾病」に区分され、いずれも実施主体は市町村です。「A類疾病」は重症化の可能性が高い感染症などを中心に14の感染症が定められており、接種対象は乳

市内の公共交通について

矢崎 悟 議員

問 現在、コミュニティバス運営検討委員会において、令和8年度からのききょう号の新たな運行体系を協議中ですが、利用者から南線の1便と2便の混雑解消の要望があるため増便を検討していますか。

答 同検討委員会からの提言では、運転手の確保を条件に増便するとしていますが、現時点では、運転手の不足から厳しい状況と伺っています。

問 バスの位置情報サービス導入について、市の見解を伺います。

答 バスの現在地が確認できることで遅延時には利用者の不安解消に効果的であるため

民生委員・児童委員について

後関 俊一 議員

問 令和7年度は民生委員・児童委員の一斉改選となりますが、そのスケジュールを伺います。

答 現委員への意向調査を令和6年10月に実施し、新たに選任が必要な人数をとりまとめた後、自治会、民生委員児童委員協議会、地区社会福祉

新鎌ヶ谷駅南側の開発について

徳野 涼 議員

問 市が売却する新鎌ヶ谷駅南側の2か所の土地の事業概要を伺います。

答 事業予定者は、京成電鉄株式会社及び日本コープ共済生活協同組合連合会が構成する共同企業体で、交番裏の土地は京成電鉄株式会社が土地を取得し、日本コープ共済生

幼児などが中心で、原則居住地の自治体にて無料で行われます。「B類疾病」には、個人の発病や重症化予防に重点が置かれ、現在3つの感染症が定められており、接種対象は65歳以上の高齢者や60歳から64歳の基礎疾患を有する者で、多くの自治体で費用の一部を実費徴収しています。

問 燃料代の高騰等から民間バス事業者では運賃を引き上げていますが、ききょう号の運賃は、どうなりますか。

答 同検討委員会からは、利用者の生活に支障をきたさないよう100円の運賃の現状維持とともに今後の社会情勢等を踏まえ、見直しを含めた検討の継続を提言されています。

問 千葉県が事業主体となり鎌ヶ谷市の中心市街地を東西に走行する新京成線の延長約3.3kmを高架化し、12か所の踏切を除却するもので、総事業費は約528億円、そのうち市の負担額は約80億円です。平成11年2月に都市計画決定平成14年3月に事業認可を取得し、令和6年度末の事業完了を目指しています。

問 当該事業の周辺事業である北初富駅前広場整備事業及び北初富交差点改良事業の進捗状況を伺います。

答 北初富駅前広場整備に向けて残る2か所の用地取得を

問 市長から千葉県知事へ候補者を進達します。その後、県知事が、県社会福祉審議会の民生委員審査専門分科会への諮問及び答申を受け、厚生労働大臣へ推薦し、同大臣が委嘱の決定を行うこととなりますが、市の伝達式は、令和7年12月1日を予定しています。

問 本年度に開業する予定です。応募は1事業者のみでしたが、その背景をどのように分析していますか。

答 プロポーザル審査において当該事業者は、配点合計の約9割を占める高い評価を得るなど、十分な検討がなされた結果であり、公募期間や周知方法に課題はないものと考えています。



本市における訪問介護事業所の現状と課題について

佐藤 剛 議員

問 介護報酬改定による市内訪問介護事業所やサービスへの影響を伺います。

答 現在のところ訪問介護サービスの利用は増加傾向にあり、事業所数にも大きな変動はありません。また、市内事業所からは、直ちに運営が立ち行かなくなるまでの影響はないものと伺っています。

問 介護人材の不足や高齢化に対する市の見解と対策を伺います。

答 市内事業所では、直ちに事業の継続が不可能な状態には至っていませんが、一定数の離職者があり、介護人材の慢性的な不足や高齢化による更なる人材不足が懸念されています。そのため、市では介護人材の定着を目的として、介護の研修受講料の一部を助成する鎌ヶ谷市介護職員研修受講料等補助金の交付や、市認定ヘルパー養成講座を開催し、新たに介護分野で働く人材の確保に努めています。

新京成線(※)連続立体交差事業について

寺本 真理 議員

問 事業概要を伺います。

答 千葉県が事業主体となり鎌ヶ谷市の中心市街地を東西に走行する新京成線の延長約3.3kmを高架化し、12か所の踏切を除却するもので、総事業費は約528億円、そのうち市の負担額は約80億円です。平成11年2月に都市計画決定平成14年3月に事業認可を取得し、令和6年度末の事業完了を目指しています。

問 当該事業の周辺事業である北初富駅前広場整備事業及び北初富交差点改良事業の進捗状況を伺います。

答 北初富駅前広場整備に向けて残る2か所の用地取得を



北初富駅前広場の整備計画図

本市における持続可能な教育環境の整備と「令和の日本型学校教育」の取組について

富田 信恵 議員

問 「令和の日本型学校教育」の目指す姿を伺います。

答 国の中央教育審議会からは、社会の在り方が劇的に変わるSociety5.0が到来し、社会全体がDX化により急激に変化を遂げる中で、児童生徒1人1人が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となること

本市の財政の逼迫について

伊藤 仁 議員

問 市税の増に向けた取組として、新たに市が千葉県から取得した新鎌ヶ谷駅南側の土地について、公募型プロポーザルを実施したところ、1者しか応募がなく、そこが売却先に決まりました。公募型プロポーザルの華は、多様な提案が出て、競い合うことだと思いますが、募集期間が2ヶ月しかなく、結果として1者の入札となったこの公募型プロポーザルについては、課題はないとは言えないのではないのでしょうか。

答 事業者においては、資材

国民健康保険料と高額療養費の課題について

松原 美子 議員

問 国民健康保険料を引上げる理由を伺います。

答 令和5年度決算で一般会計からの赤字繰入れが約2億1千万円と、大きな影響を与えるようになってきたことや近隣市の状況を勘案し、年間1万2千円引上げます。

問 直近の国民健康保険料滞納者世帯数と全体に占める割合及び差押件数を伺います。

答 令和5年度では1期以上の保険料の滞納がある世帯は1千633世帯で全世帯の約11.6%となり、差押件数は70件でした。

市長の政治姿勢について

大野 幸一 議員

問 市長が考える今後のまちづくりの方向性を伺います。

答 本市は、都市等への移動がしやすく、北千葉道路の事業化と相まって、広域交流拠点としてさらなる発展へのポテンシャルが高く、現在、新鎌ヶ谷地区では、建設中の商業棟、住宅棟に加え、700人規

育に学習するだけでなく、多様な他者との関わりを持つことやICTを最大限に活用すること、地域の人々との協働により学びを深めることなどの学習スタイルが可能であると認識しており、そのための教室や廊下等の内部空間の改修については、多様な学習に対応できるように先進市の状況を調査研究し、適切に対応していきます。

問 高額療養費の自己負担額の引上げが検討された背景を伺います。

答 全ての世代の保険料負担の軽減を図る観点から高額療養費の自己負担額の見直しと所得区分の細分化を行うものでしたが、令和7年3月7日に首相が引上げの実施を見送りました。秋までに改めて方針が決定されます。

育てしやすく暮らしやすいまちとなっております。このような環境を生かし、鎌ヶ谷に生まれ育った人、移り住んだ人さらに、これから住んでみたいと思うあらゆる世代にとつて、住みたい、住み続けたい訪れてみたいと思えるまちの実現が、私の目指すまちづくりです。

模のオフィスの建設事業予定者が決定しています。こうした効果による税収増を市民サービスの充実につなげる好循環を整えることにより、選ばれるまちとしてさらに成長すると考えています。また、緑にあふれ、都市農業やコミュニティも活発なことから、子

(※) 新京成線は、令和7年4月1日から「京成松戸線」となりました。